

退任の挨拶

校門前の桜並木と共に春の暖かさを感じながら快い季節を迎え、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

同時に、全世界的に新型コロナウイルス感染の拡大に抗し切れず、昨年10月鶴工創立100周年を迎えるも、人命に関わる安全策を優先し記念式典事業が一年延期せざるを得ない中で、多大なるご寄付を賜りました各企業や個人、団体の皆様、そして全国2万5千有余の同窓会員の皆様に改めて感謝と御礼を申し上げます。

さて、平成26年度城畔同窓会本部総会時において、黒谷 虎雄前会長から第5代会長として受け継いで三期6年半の歳月が流れ、この度の役員改選時で、阿部 進副会長に引き継いでいただくことになりました。

在任中は、会員相互の親睦を図り、母校の更なる発展と充実、更には全国有数の各支部の会員拡大とそのネットワーク構築のため、支部長さん初め会員の皆さんからは貴重なご意見を頂き、夢中で走り回りながらご指導を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

就任当初は、組織機構改革としての規約、組織図を見直し、特に平成年度の卒業生の会員拡大に繋げるべく代議員制度を導入しながら母校への恩返しの実現、更には創立100周年記念事業に相応しい新校舎の建設に併せた同窓会館の建設実現に向け、阿部 進 新会長の下、役員諸氏の結束力と行動力を生かした活力ある同窓会の発展を遂げて行かれますよう期待して止みません。

末尾になりますが、アーチェリー東京五輪代表最終選考会で平成23年本校卒業生の中村 美樹さんが見事代表権を勝ち取り、100周年記念事業に大きな華を添えていただき、金メダルを目指し皆さんと共に大きな声援を送りながら母校のますますの発展と飛躍を祈り、併せて同窓会員の皆様のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げ退任の挨拶といたします。

ありがとうございました。

令和3年3月吉日

山形県立鶴岡工業高等学校
城畔同窓会 佐藤 弘